

ソニー生命保険株式会社 CSR活動「ライフプランニング授業」



ライフプランナー営業本部
ライフプランナー推進部 ライフプランニング推進課
濱崎 祐一

【ライフプランニング授業のきっかけ】

実際にご自身で、
ライフプランニングを体験された
高校の先生のひとこと

「ライフプランニング、面白いじゃないですか。
学校でこんなことが、できたら良いですね。」

授業における「ライフプランニング体験」のポイント

仮想の家族を想定



グループワーク



★自由な発想のもと、意見交換しながら、
人生を考えてほしい

★本物らしさ、リアルさも追求する

夢

プログラムの概要

時間	授業内容	ポイント
1 時間 目	<p>【イベントプランニング決定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮想家族を設定し、ライフプランナーによるサポートを受けながら、その家族の将来設計(イベントプランニング)を行います。 <p>(ディスカッションする内容) 家族構成、子供の教育プラン、住居の計画、働き方、毎月の出費、家族の夢プラン など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モノの価値や値段について、基本的な理解を深める ・経済面だけでなく、家族にとって、大切なことは何かを考えるきっかけとする ・自由闊達に意見し合い、それぞれの価値観、考え方を理解しあう機会とする
休憩	ライフプランナーによるライフプランニングシミュレーション	
2 時間 目	<p>【ライフプランニングの検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・グループごとで、ライフプランニング収支結果の確認 ・グループごとで、ライフプランナーのサポートを受け、収支バランスの改善ポイントを確認 ・授業の感想や気づきの共有 ・ライフプランナーによるまとめ & 生徒さんへのメッセージ ・感想文など記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションを通して、自分の将来設計をイメージする ・夢をあきらめるのではなく、実現させるための工夫や考え方を理解する ・将来を見通して、あらためて「今」の自分にとって、大切なことに気付く ・ライフプランナーから、先輩社会人として、メッセージをお伝えする

1時間目

ライフプラン表 完成例

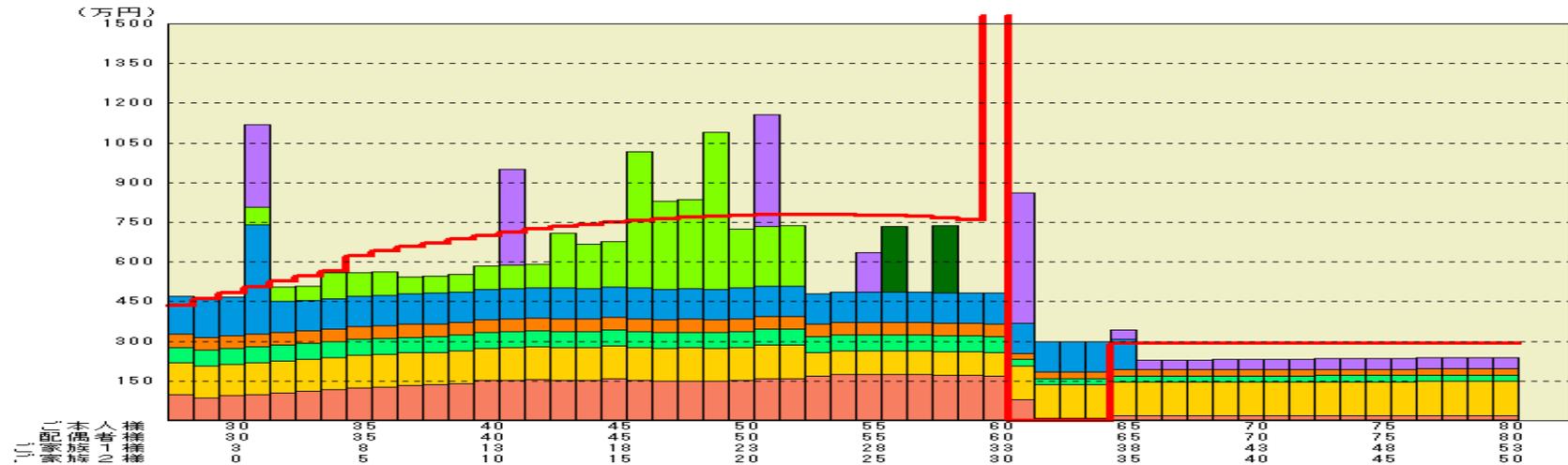


どんな意見でも、ライフプランナーは受け止め、否定しません。
 ⇒ 子どもたちは、どんどん積極的になります。

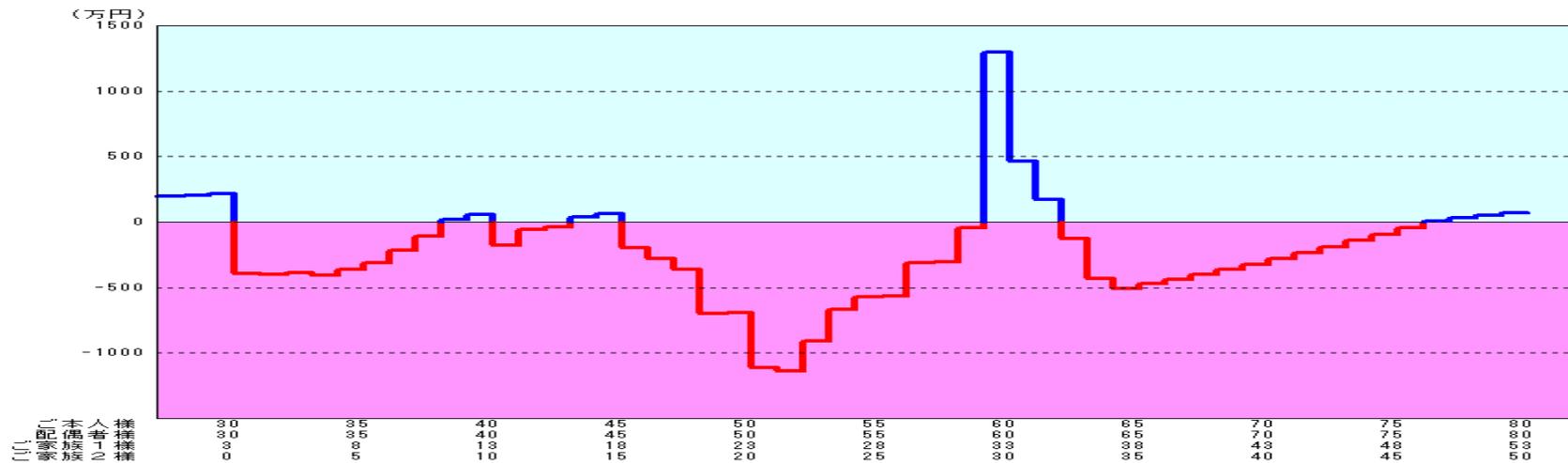
2時間目

ライフプランニングの検証(結果確認)

【年度別収支】

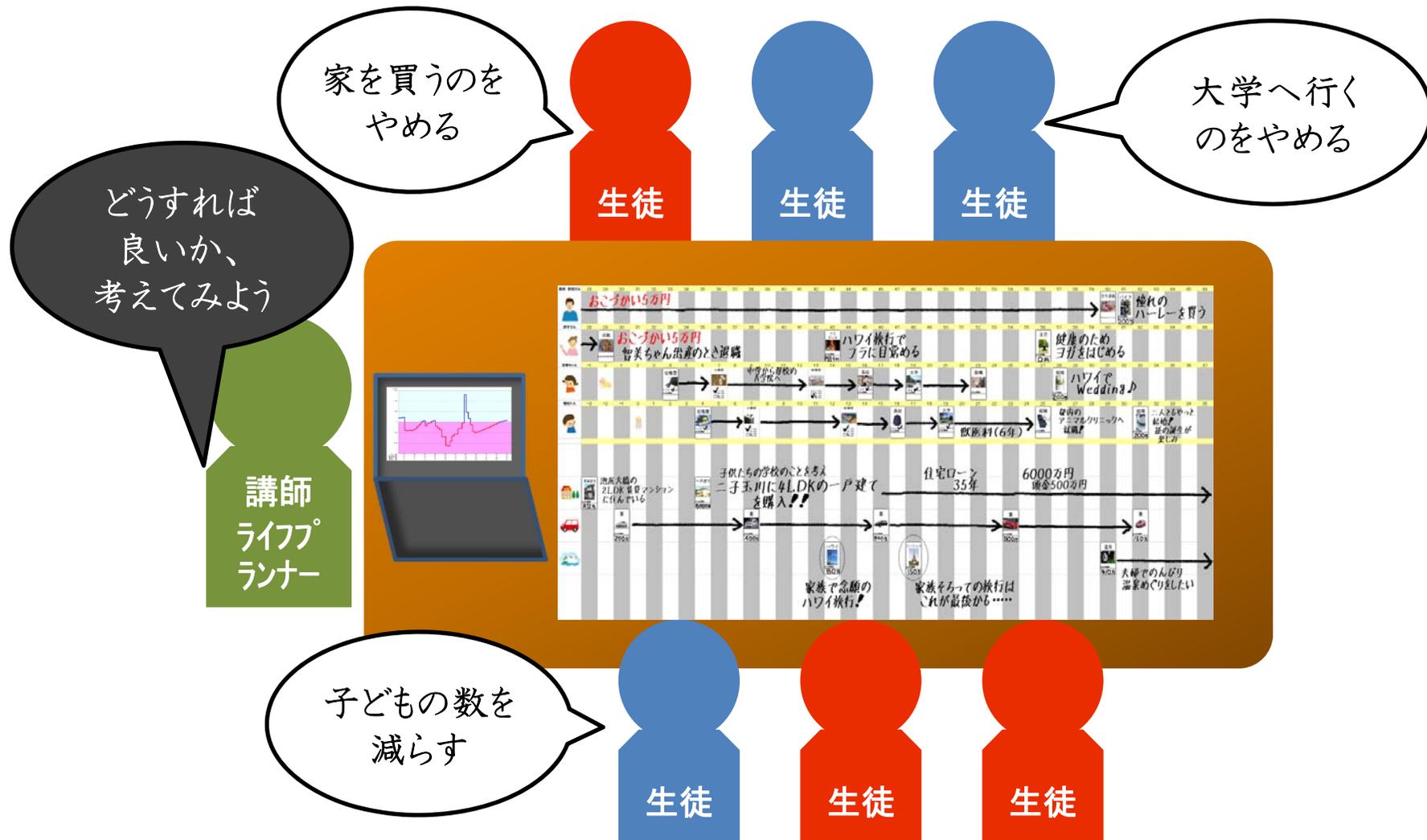


【金融資産残高】



2時間目

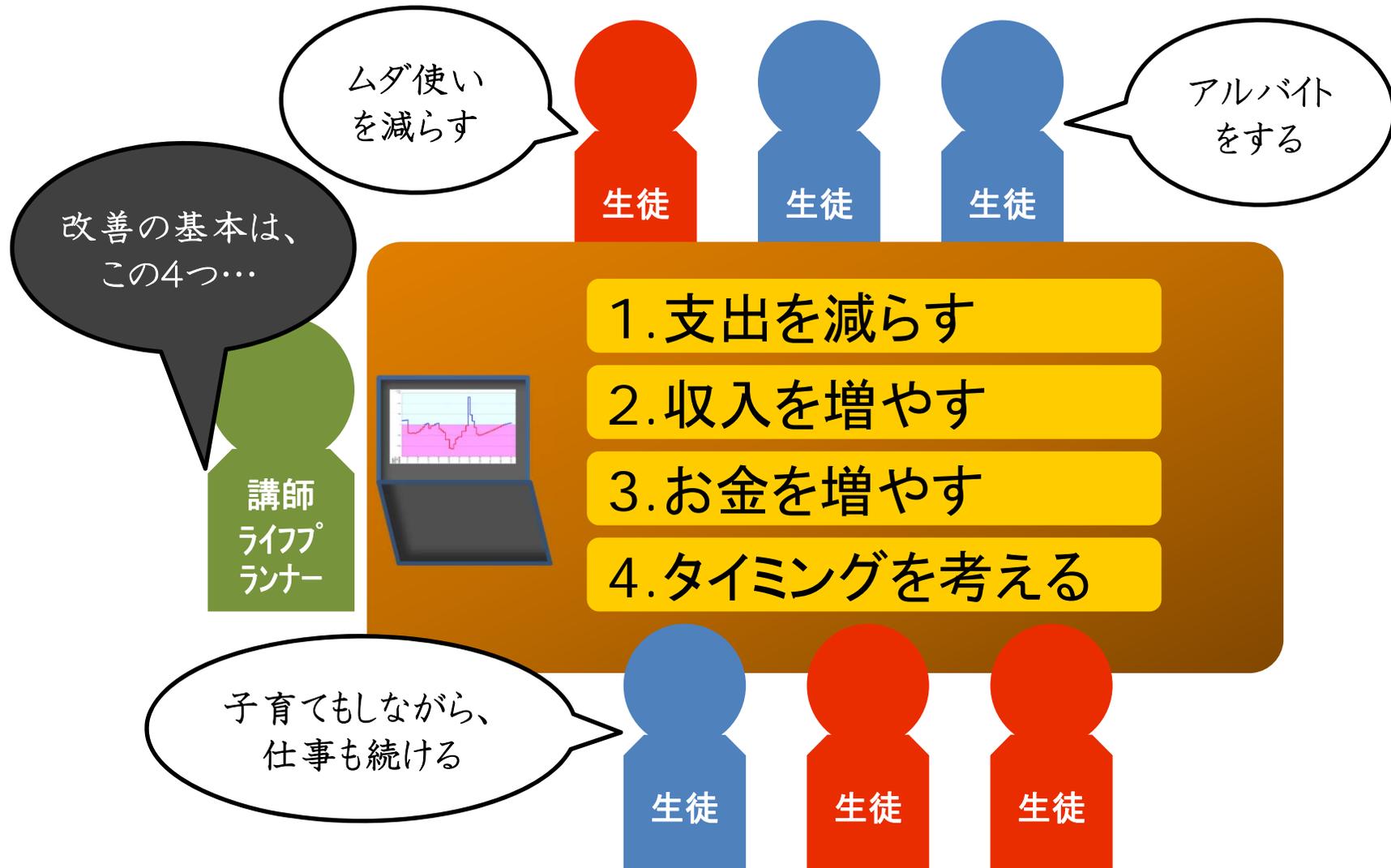
ライフプランニングの検証(改善策検討)



講師であるライフプランナーからの問いかけ：
実現したい夢をそんなに簡単にあきらめて良いのだろうか？

2時間目

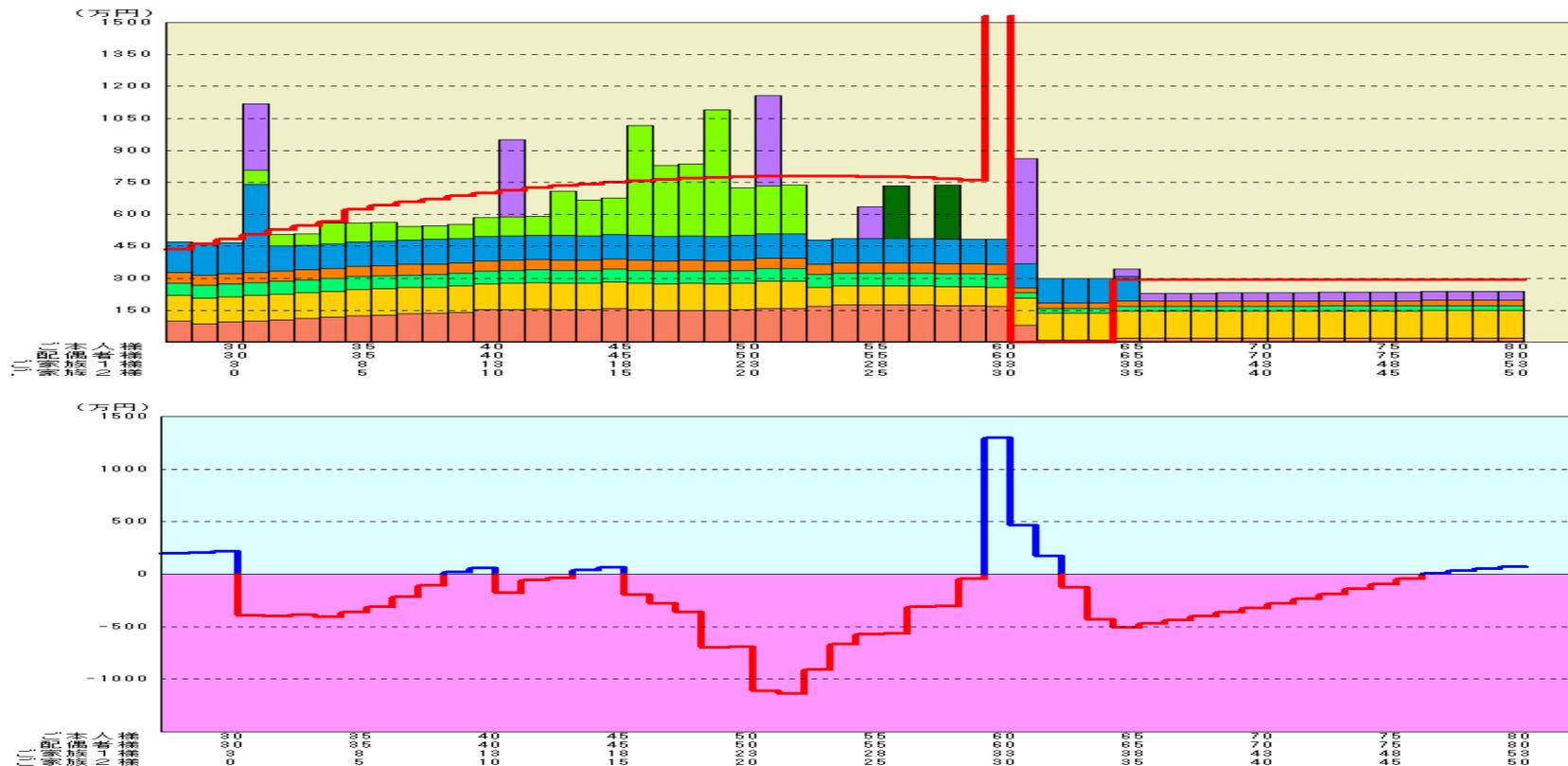
ライフプランニングの検証(改善策検討)



2時間目

ライフプランニングの検証(改善策検討)

【改善前】

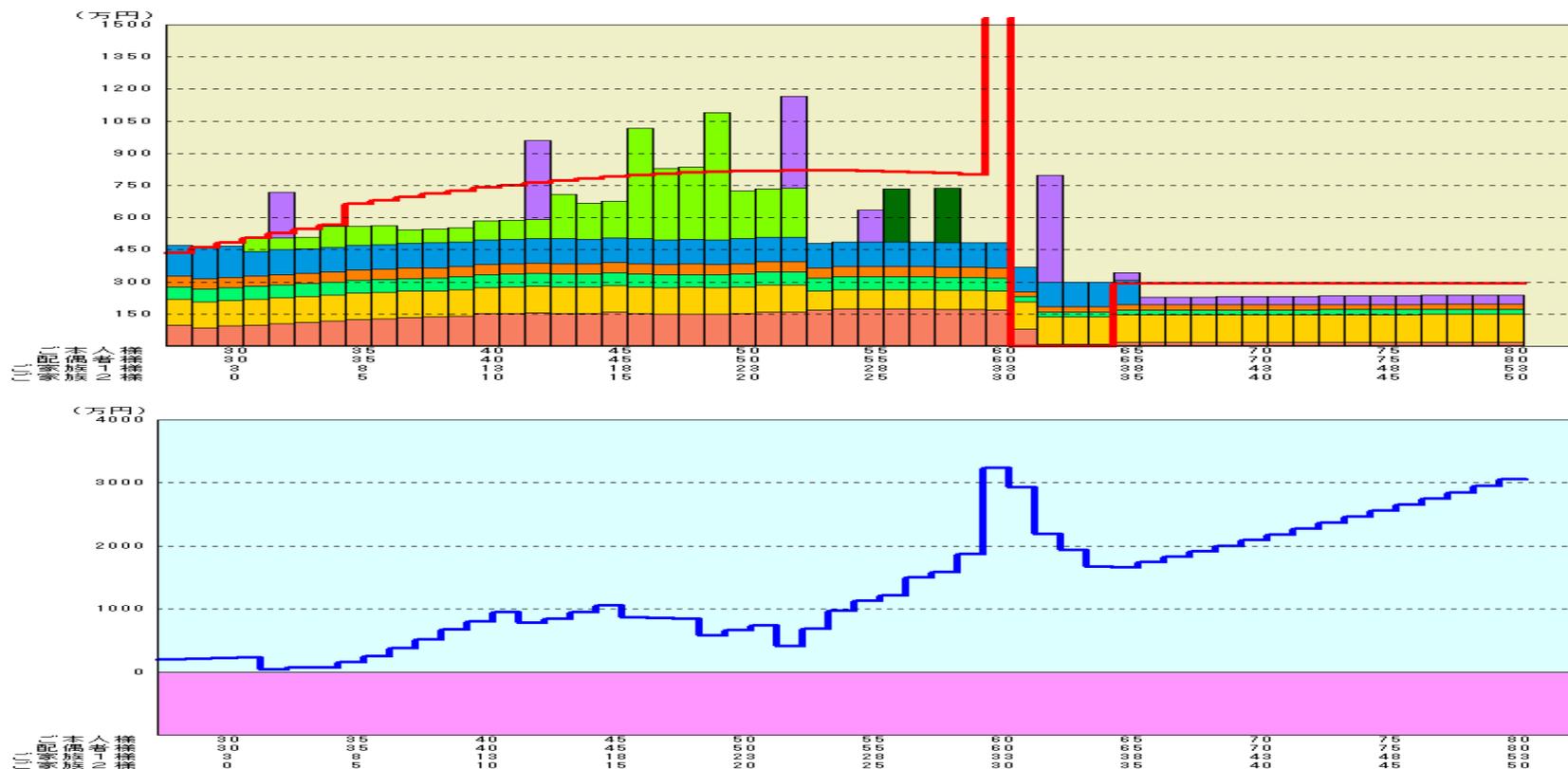


講師であるライフプランナーが、
子どもたちの意見をもとに、具体的なアドバイスを行います。
収支バランスは、みるみる改善されます。

2時間目

ライフプランニングの検証(改善策検討)

【改善後】



金融の知識を深める 以上に

夢はあきらめなくても、自分の努力や創意工夫で、
その実現可能性は、高まるという気付きを得てもらう。

先生から(公立高校 普通科) ※一部表現を加工

感じたことは、生徒たちの表情がみるみる変わっていくという驚きです。最初のうちさほど期待をしている風でなかったのに、具体的なシュミレーションするうちに、人生について考えることの大切さを実感していくのが手に取るようにわかりました。

「子どもが独立するまでにいくら教育費が掛かるか」を知り、事後アンケートに保護者への感謝の気持ちを多くの生徒が書いていました。これからの進路選択に、少なからず影響を与える経験だったと思っています。

学校ではお金をもとに何かを考えさせる機会は多くはありません。教員とは違った切り口で人生についてより具体的に語ってくれたライフプランナーから、生徒たちは短時間で多くの事を学んだと思います。

授業を支えている講師たち = ライフプランナー

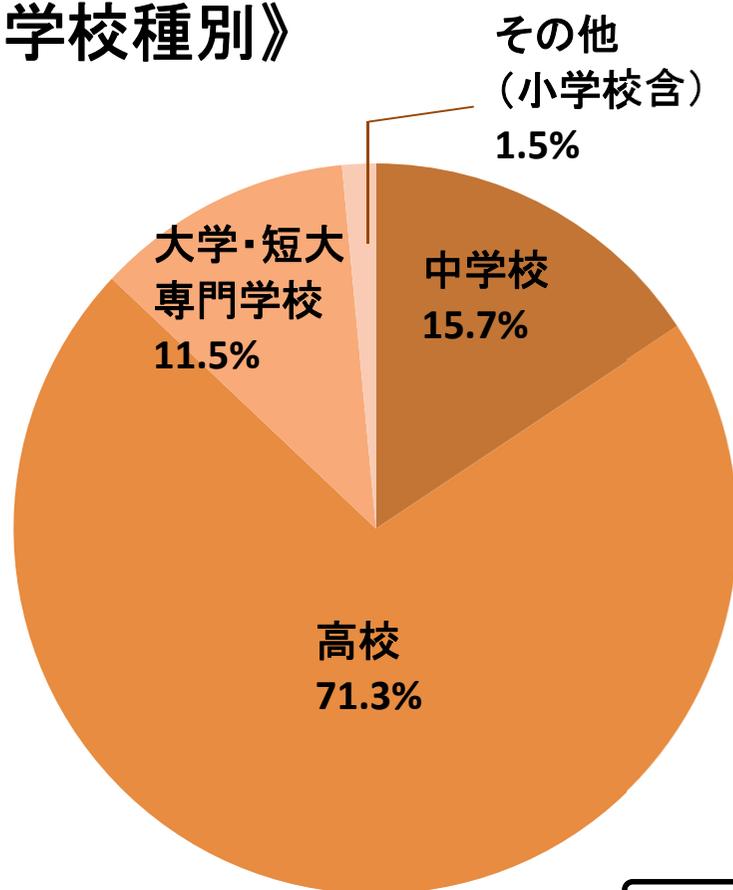
- ◆ ボランティアとして参加
- ◆ 学校との打ち合わせも行い、授業実施までにリハーサル等、準備も行う
- ◆ 1回の授業で、数十名が参加することも多い
- ◆ 子どもたちと触れ合うことで、
「仕事の原点に立ち戻れる気がする」



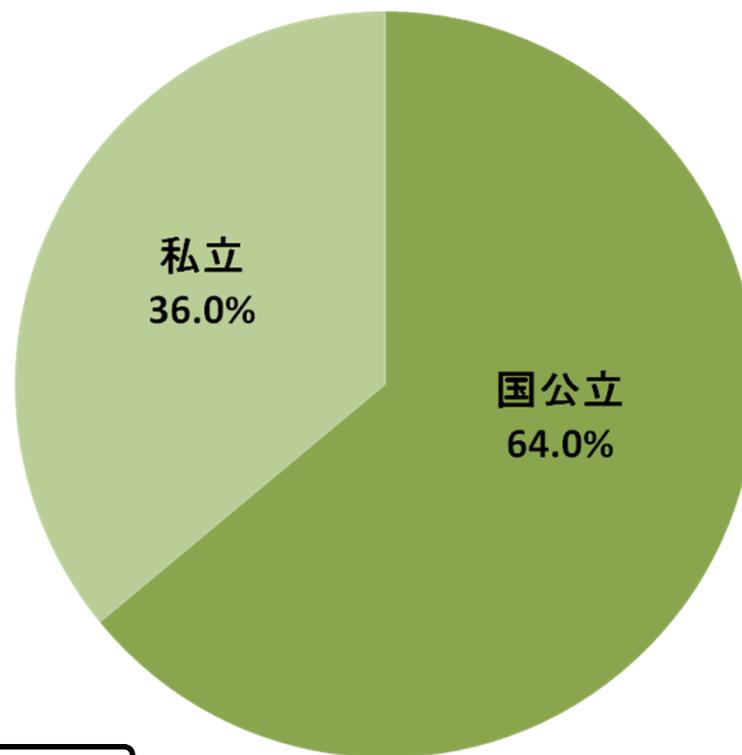
実施状況

学校種別など

《学校種別》



《国公立・私立》

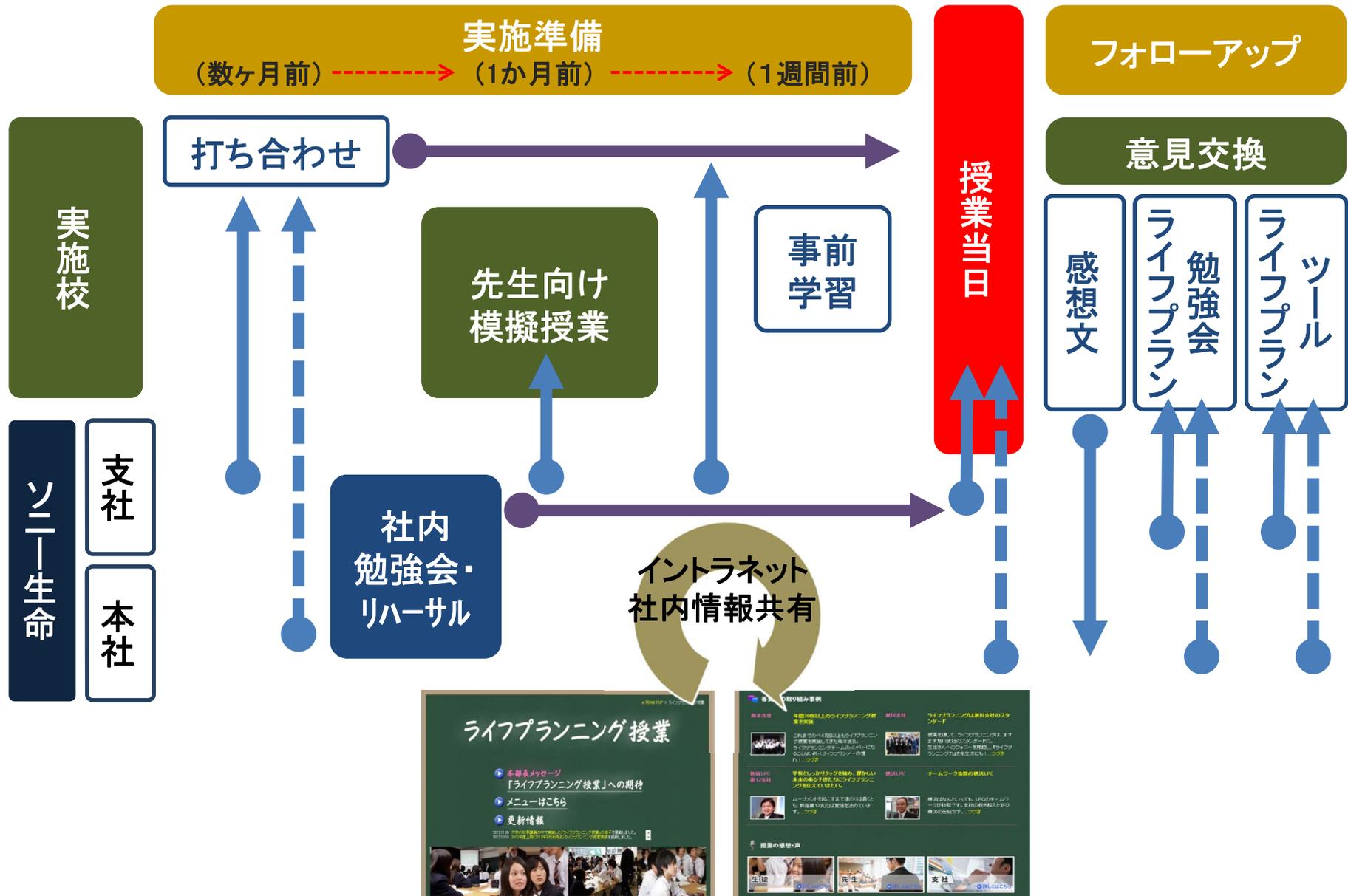


2013年3月末時点

高校が7割。近年、中学校の実施割合が増えています。
公立・私立の区別なく、いろいろな学校、学科で実施しています。

学校連携

《学校》=《支社》=《本社》コミュニケーション



実績

実施校数 のべ 470校
受講生徒・学生数 約43,350人
参加講師数 のべ 約8,500人

2013年3月末時点

ご清聴ありがとうございました。

